

「踊り場の中味」

代表取締役 山口 哲生

2025年と2026年の2年間は協和機工にとって変化の踊り場として考えている。

つまり、この2年間は次の成長の為の段取りの期間であり、多少数字的には足踏みしてもそれ以上に緊張感を持って変化に備えていく2年間なのである。

その内容として組織を従来の加工中心のものから事業毎に変えているが、これにより収益性をガラス張りにして「how much」の意識を強くしたいと考えている。

改めてであるが、収益性＝価格－経費であり、価格と経費の両面からより深く考える会社にしていきたい。

次に、従来から押し進めてきた「realなモノ作り」の前後に、Before ServiceとAfter Serviceを重視する考えを前面に出していく。今までより客先のニーズ(問題点)を深く知り、我々の立場から解決策を提示できる会社に変えていきたいと考えている。

これは、リアルなモノ作りの経験をより価値のあるものに変えていくことでもある。

5年程前から設計を中心とした技術陣を計画的に増やし、技術と情報のネットワークの充実を進めてきているが、会社紹介においても従来の工場見学だけではなくソフトの部分の印象をガラリと変えるぐらいのつもりで進めていきたい。

モノ作りという言葉で表現されてきた中小企業も、そろそろ看板を変える時代を迎えていることは確かだ。

— 以上 —

“Details of the Landing”

We view the two years, 2025 and 2026, as a transitional “landing” period for Kyowa Kikoh to change itself. In other words, these two years are a period for laying the groundwork for the next stage of growth. Even if our performance has some plateaus according to the numbers, we will maintain an even stronger sense of urgency and prepare ourselves for change.

As part of this effort, we are shifting our organizational structure from the traditional processing-centered model to one organized by business units. Through this change, we aim to make profitability transparent and strengthen awareness of “how much.”

To reiterate, profitability equals **price minus expenses**, and we want to become a company that thinks more deeply about both aspects—price and costs.

Next, we will place greater emphasis on **Before Service** and **After Service** surrounding the “real manufacturing” that we have long promoted. We want to understand our customers’ needs (and problems) more deeply than ever before and transform ourselves into a company that can propose solutions from our own professional standpoint. This also means turning our experience in real manufacturing into something of even greater value.

For the past five years, we have been constantly increasing the number of engineers, particularly in design, and strengthening our networks of technology and information. When it comes to our company’s introduction, for instance, we practice not only the traditional factory tours but also explain an unmaterial side of our capabilities to change the impression.

It is also true that the time has come for small and medium-sized enterprises, long considered as just “manufacturers” to consider renewal of their signboard.

Tetsuo Yamaguchi
President, Kyowa Kikoh Co.,Ltd.



KYOWA

Vol.41 浮体式風況観測装置 / スパー型鋼製浮体

浮体式風況観測装置とは、洋上風力発電の適地選定を目的に、海上の風速や風向きなどの風況データを測定し、リアルタイムでデータを送る浮体型の観測装置です。太陽光や燃料電池を利用した独立電源を搭載した装置で、その場で必要な電力をまかなうことができます。陸地から離れた水深の深い海域でも長期間にわたり観測が可能です。

この度、株式会社MIA殿の浮体式風況観測装置に用いられるスパー（支柱）型鋼製浮体を製作しました。今回製作したスパーは全長約23メートル、重さ41トンの大型製品です。3分割構造になっており、パーツごとに輸送し、港にて組み立て海上へ設置します。スパー型は、1本の長い支柱状の浮体を浮かせ安定させる仕組みになっており、水深の深い海域に適した構造です。波浪中の動揺が小さく、係留安定性に優れているため、波の影響を受けにくく、より高精度な風況観測を可能にします。今後も、洋上風力発電を支える構造物の製作を通じて、再生可能エネルギー分野の発展と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

浮体式風況観測装置MIA



スパー（支柱）型鋼製浮体



KYOWA VIETNAM NEWS

Kyowa Vietnamに出向している川淵さんの現地レポートです。

ベトナムも季節が変わり、雨の少ない乾季になりました。日中の気温はさほど変わりませんが、朝と夜は気温が下がり肌寒さを感じます。今年7月には新しい主要空港となるロンタイン国際空港の開業が予定されており、それに伴い新しい道路を作るための工事が着々と進められています。ロンタイン国際空港からKVまでの所要時間は、現在利用されているタンソンニャット国際空港と比較して半分程度となり、よりアクセスがしやすくなりそうです。

KVではいくつかの社内イベントが開催されました。昨年12月13～14日に実施された社員旅行では、目的地であるブンタウでの海水浴やBBQを通して、普段は話す機会が少ない方々と交流を深めることができ、とても充実した2日間を過ごせました。2月7日にはテト前という事で忘年会が実施され、カラオケや抽選会で大盛り上がりでした。

これから工事が増え忙しくなっていきますが、気を引き締めて仕事に取り組んでまいります。



令和8年の干支 ～「丙午(ひのえ・うま)」～

令和8年の干支は、「丙午(ひのえ・うま)」と言います。「丙」は陽の火をつかさどる文字で、情熱や決断力を象徴します。「午」もまた火の属性を持ち、この二つが重なる丙午はエネルギーに動いたり、大きな決断をすることで物事が好転すると言われています。また、馬は古来より人々を目的地へと導く存在として「進展」や「成功」の



午年生まれの人は、明るく前向きな性格で、周囲からはムードメーカーとして慕われることが多く、目標に向かって粘り強く努力する負けず嫌いな一面も持つと言われています。

祝新成人

去る1月13日(火)、今年成人式を迎える若手社員へのお祝いの授与式が執り行われ、山口社長からもお祝いの言葉が述べられました。そこで大人の仲間入りを果たした新成人の抱負をご紹介します。



◆友廣 花鈴さん (予算管理センター 工務課)

この度は無事に成人を迎えることができ、大変嬉しく思います。4月から社会人となり、自分なりに精一杯務めて参りましたが、まだまだ分からないことが多く、周りの方々に沢山ご迷惑をおかけしているので、少しでも早く仕事をこなせるようになりたいです。また、これまで育ててくれた家族や友人に感謝の気持ちを忘れずにこれからも頑張ります！

◆塩谷 楓さん (工作部 陸機課製缶係)

今年、成人式を迎え20歳になりました。これからは、気持ちを新たに様々なことに努力していこうと思います。

◆前田 晋太郎さん (工作部 アルミ船建造課)

新成人として責任ある行動を心がけ、失敗を恐れず挑戦し続けることで、自分自身を成長させ、日々努力していきたいです。

祝！ 特定技能2号合格

特定技能外国人の3名が特定技能2号試験に合格しました！

合格を祝して、会社よりお祝いが贈呈されました。

特定技能2号に移行するためには、製造分野特定技能2号評価試験とビジネス・キャリア検定の両方に合格しなければなりません。合格者は試験日の約半年～3ヶ月前から1日に3、4時間ほど勉強をしたそうです。一番苦戦したことは、漢字を調べながら専門知識を覚えることで、時間がかかって大変だったとのことでした。

どちらも非常に難しい試験でしたが、努力の成果が出たことを嬉しく思います。特定技能2号評価試験に合格したことで、日本での在留期限に上限がなくなると共に、家族の帯同も可能となります。

これからも長く活躍していただけることを期待しています。

本当に合格おめでとうございます！



KYOWA NEWS

— 2025.12月～2026.2月 —

忘年会(2025.12.26)



定年退職(2025.12.31)



人事通信

—令和8年3月1日現在—



人事異動 (敬称略)

<工作部の改組について>

令和8年1月1日付にて、工作本部工作管理課および造機課の組織を再編成し、新たに陸機課、オフショア課及びアルミ船建造課を設けました。

工作管理課 → 生産計画課へ

造機課造機3係 → 陸機課製缶係へ

造機課造機4係 → 陸機課組立係へ

造機課造機5係 → 陸機課機械係へ

船殻課加工係 → 陸機課加工係へ

◆2026/1/1付

- ・予算管理センター 工務Gr 課長補佐
上野 裕司 (旧. 工作本部 造機課 係員(課長代理))
- ・大阪支店 営業部 主任
岩野 純也 (旧. 予算管理センター 工務Gr)
- ・東京支店 総合技術部 主任
林田 浩孝 (旧. 総合技術部 大阪分室 油圧Gr)
- ・総合技術部 本社 主任
伊崎 長春 (旧. 総合技術部 東京分室)
- ・工作本部 生産計画課 係員
吉元 秀平 (旧. 工作本部 工作管理課 スタッフ)
- ・工作本部 陸機課製缶係 係員
原口 賢 (旧. 工作本部 造機課造機3係 班長)
- ・工作本部 陸機課製缶係 係員
TRAN TRUNG TIN (旧. 工作本部 造機課造機3係 班長)
- ・工作本部 陸機課機械係 係員
小田 清文 (旧. 工作本部 造機課造機5係 班長)
- ・工作本部 アルミ船建造課 係員
久保 彰真 (旧. 工作本部 造機課造機3係 班長)
- ・工作本部 アルミ船建造課 班長
石橋 真行 (旧. 工作本部 造機課造機3係 班長)

- ・工作本部 陸機課加工係 班長
野元 正一郎 (旧. 工作本部 船殻課加工係 班長見習)
- ・工作本部 オフショア課 班長
LUU MINH HOA (旧. 工作本部 造機課造機3係 班長)



正社員登用 (敬称略)

◆2025/12/1付

- ・総合品質管理部 検査課 村田 美玖

◆2026/1/1付

- ・工作本部 陸機課製缶係 野口 大

◆2026/1/14付

- ・総合技術部 生産設計Gr PHAM PHU CUONG

◆2026/2/1付

- ・工作本部 生産計画課 石田 嶺太郎



合格おめでとうございます! (敬称略)

◆2025/10/31付 交付

- ・ビジネス・キャリア検定3級生産管理オペレーション
LUU MINH HOA(工作本部 オフショア課 班長)
LE CHI HAI(工作本部 陸機課加工係 班長)
NGUYEN VAN LINH(工作本部 陸機課製缶係)
NGUYEN TRONG NGOAN(工作本部 アルミ船建造課)

◆2025/11/28付

- ・製造分野特定技能2号評価試験
DANG TAN PHAT(工作本部 オフショア課)



ご結婚おめでとうございます!

◆令和7年12月11日 ご結婚

- (工作本部 陸機課機械係)
TRUONG VAN THAO さん
NGUYEN THI DAO さん

